

「住みたくなるまち日本一」を目指して

富谷市記者会見資料①

平成30年11月28日

市民生活部 生活環境課

担当：日野

連絡先：358-0515

（仮称）やすらぎパークとみや整備基本計画の策定について

本市では、少子高齢化、核家族化の影響や墓地に対する意識の変化、墓地ニーズの多様化などに対応するための公営墓地と、予めから市民要望が高まっていたパークゴルフ場を一体整備するための「（仮称）やすらぎパーク整備基本計画」を策定いたしました。

本計画は、これまでの墓地のイメージを払拭した「明るく公園のような景観・雰囲気」を持たせるとともに、「誰もが気軽に体を動かすことができる、身近な生涯スポーツの交流拠点」として、施設整備の基本的な方針を示すものです。

記

○公営墓地需用の予測

今後30年間の公営墓地の需要推計を2,000基と設定

○パークゴルフ場の規模設定

18ホール（2コース×9ホール）

○施設規模の設定

◆墓地の規模

- ・和式、芝生、合葬式墓地など、墓地ニーズの多様化へ対応
- ・2,000基を、3期程度に分けて段階的に整備

◆パークゴルフ場の規模

- ・2ヘクタール

○整備場所（適地）

大亀山森林公園東側

○整備スケジュール

基本・実施設計策定、関係機関との調整等に2年、更に造成・建設工事に2年を要し、平成35年度供用を目指す。



(仮称)

やすらぎパークとみや 整備基本計画

〈概要版〉



富 谷 市

1 計画策定の背景と目的

全国からの移住者が多い富谷市では、様々な事情から、公営墓地の整備を求める声が市民の方から寄せられており、公営墓地の整備が喫緊の課題でした。

また、少子高齢化、核家族化の影響、宗教との関わり方や墓地に対する市民意識の変化、墓地ニーズの多様化など、墓地を取り巻く環境は大きく変化してきています。

この状況を踏まえ、市では平成28年3月に「公営墓地アンケート調査」を実施し、住民意向を調査するとともに、同年に策定した「富谷市総合計画」において「公営墓地の整備検討」を最重点プロジェクトとして位置付け、公営墓地整備に向けた調査・検討を重ねてまいりました。

そのような中、これまでの墓地のイメージを払拭した「明るく公園のような景観・雰囲気」を持たせるため、また、造成コストや運営コストの縮減を目指すために、予めから市民要望が高まっていたパークゴルフ場との一体整備による次世代型複合施設としての整備を目指し、今般「(仮称)やすらぎパークとみや整備基本計画」を策定いたしました。

本計画は、本市のまちづくりの将来像・基本理念である「住みたくなるまち日本一」の実現に向け、市民の皆様が生涯安心して元気に過ごすための拠点となる「(仮称)やすらぎパークとみや」の整備に向け、「公営墓地アンケート調査」をベースとした「墓地需要の予測」、「施設規模の検討」、「整備適地の検討」等を行い、施設整備にあたっての基本的な方針を示すものです。

2 公営墓地需要の予測

公営墓地の需要予測を下記のとおり行いました。

【前提条件】

- 30年後の2050年（平成62年）までの想定とする
- 将来人口は『人口ビジョン（富谷独自）推計値』（2010年基準）を用いる

【需要推計方法】

- 公営墓地需要方式（大阪府方式）による推計
- 次の2式の30年間の総和の平均に「潜在的公営墓地需要割合」を乗じる
- 第1式 墓地需要数＝世帯数×定着志向係数×墓地需要率×死亡発生世帯率
- 第2式 墓地需要数＝世帯数×定着志向係数×傍系世帯率×死亡発生世帯率

【変数の設定】

- 世帯数：人口ビジョン（富谷独自）推計値を基礎に、将来の平均世帯人員（指数近似式より設定）で除すことにより設定
- 定着志向係数：「公営墓地アンケート調査」から85%に設定
- 墓地需要率：「公営墓地アンケート調査」から25%に設定
- 傍系世帯率：「公営墓地アンケート調査」から0.3～0.4に設定
- 死亡発生世帯率：指数近似式より設定
- 潜在的市営墓地需要割合：「公営墓地アンケート調査」から最小65%最大90%に設定

上記結果から、今後30年間の公営墓地の需要推計は**2,000基**と設定。

3 パークゴルフ場の規模検討

本市周辺には、大衡村の万葉パークゴルフ場をはじめ、公認コースのある施設が8箇所あり、現在、大崎市三本木、東松島市で54ホール規模の整備が予定されています。

このような県内動向を踏まえ、本市では「誰もが気軽に体を動かすことができる、身近な生涯スポーツの交流拠点」として、**2コース、18ホール**の整備を図ることとします。

なお、施設運営に要する維持管理経費についても、公営墓地と共用することで抑制に努めます。

パークゴルフ場は、公益社団法人日本パークゴルフ協会の「コース設定基準」を踏まえ、整備します。管理棟、駐車場等は、墓地利用者とは共用することとします。

4 施設規模の設定

施設規模については、下記のとおり設定いたしました。

	I 期	II 期	III 期	合計
和式型墓所エリア	200区画	50区画	50区画	300区画
芝生型墓所エリア	200区画	150区画	550区画	900区画
合葬式墓所エリア				
個別埋葬形式	400区画	400区画	—	800区画
共同埋葬形式	(1箇所)	—	—	(1箇所)
墓所合計	800区画	600区画	600区画	2000区画
駐車場	200台	—	—	200台
多目的広場等	1,500㎡	—	—	1,500㎡
パークゴルフ場 18ホール (9ホール×2コース)	20,000㎡	—	—	20,000㎡

※公営墓地の墓地形態については、平成28年3月に実施した「公営墓地アンケート」の結果を反映し、設定しました。

また、時代によって変化する墓地ニーズに対応するため、3期に分けて整備を行う方針です。

※個別埋葬形式とは、お骨を入れるカロート部分が個別に管理されていて、墓石等の設置が無い合葬式墓所のことです。墓石の代わりに樹木（シンボル・ツリー）等を配置する予定です。

5 候補地の選定と適地の決定

施設規模を満たす候補地を下記のとおり選定しました。

【候補地前提条件】

森林法、文化財保護法、急傾斜地崩壊による災害防止に関する法律、農業振興地域の整備に関する法律、富谷市墓地等の経営許可に関する事務取扱要綱に基づく規制条件等をクリアする地域

【面積要件】

上記施設規模の算定に基づき、施設面積4haを確保できる場所

【市有地の有効活用】

事業費の低減のため、市有地の有効活用を図るものとなりましたが、市有地の多くは山林で、造成費用が増大してしまうため、近隣の民有地も合わせた上で、下記の2箇所の市有地を候補地として抽出し、比較検討しました。

○比較検討の結果、候補地Aの**大亀山森林公園東側**を適地として整備することに決定いたしました。

○適地決定のポイント

- ・山林部分の高低差が少なく、造成等の費用が抑えられる
- ・大亀山森林公園との連携を図ることにより、利用者の利便性向上、集客力アップが見込める

6 今後の整備スケジュール

今後の整備スケジュールについては、下記のとおり予定しています。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
○測量	地形測量	用地測量			確定測量	
○地質調査						
○基本設計						
○実施設計						
○関係機関協議						
○各種許認可、申請手続等						
○用地交渉、用地買収						
○造成工事、建設工事						
○供用開始						

※スケジュールについては、計画策定時点での見込みであり、今後変更となる場合があります。

7 概算工事費

本事業に係る概算工事費は、下記のとおりです。

(単位：千円)

項目	金額	左記の金額に含まれる内容
造成工事	300,000	造成工事（切土、盛土、不足土購入、残土処理） 法面工事 排水工事（暗渠排水、自由勾配側溝） 橋梁工事
建築・外構工事	400,000	○管理棟 ○墓地整備 ＜和式型墓所300基、芝生型墓所900基、合葬式（個別埋葬形式）墓所800基、共同埋葬形式墓所1基＞ ○駐車場（200台） ○多目的広場 ○園路、植栽、水汲場、献花台等 ○案内サイン ○給排水設備、電気設備 等
パーク・ゴルフ場工事	200,000	○基盤整備（切土法面整形、切土法面緑化、造形工事、植栽基盤工事等） ○植栽（高木植栽、芝生張芝、芝生吹付等） ○施設整備（散水設備、貯水槽、井戸設備、案内サイン等）
合計	900,000	

- 上記金額は、Ⅰ期～Ⅲ期までの合計工事金額です。
- 上記工事費には、各種調査（測量調査、地質調査、水質調査、鑑定評価等）、基本設計、実施設計、用地購入等に係る経費は含まれていません。
- 現段階で計画している条件により算出しておりますので、今後変更となる場合があります。
- 上記金額には消費税は含まれていません。